

台風12号による被害状況について



奈良県十津川村

1 気象警報等と救援体制の状況

- 9月1日(木) 11:17 大雨・雷・洪水注意報発令
- 9月2日(金) 03:34 大雨警報発令
06:00 災害対策本部設置
12:35 土砂災害警報情報発令
- 9月6日(火) 06:30 陸上自衛隊(伊丹)主力が到着
07:43 近畿地方整備局がTEC-FORCE 2名派遣
15:40 前田国土交通大臣現地視察
- 9月8日(木) 09:10 奈良県知事現地視察
- 9月9日(金) 15:30 奈良県現地対策本部を設置
- 9月12日(日) 13:50 鹿野農林水産大臣現地視察
- 9月16日(金) 15:30 警戒区域を設定(災害対策基本法第63条第1項)
赤谷土砂ダム緊急工事着工
- 9月20日(火)~21日(水) 台風15号接近
- 9月21日(水) 赤谷土砂ダム越流
- 9月26日(月) 17:00 警戒区域の設定変更

2 人的被害の状況(その1)

1 上湯川

裏山が崩壊、土砂崩れにより家屋が流出する。

世帯主

73歳、男性 死亡



2 人的被害の状況(その2)

2 野尻

- ・ 対岸の山が崩れたため、流れが変わった河川に村営住宅が押し流された。

※3世帯、11人（死亡2名、行方不明6名、重傷3名）



2 人的被害の状況(その3)

2 野尻

- 世帯主 33歳、男性 行方不明
妻 34歳、女性 重傷:入院中
長男 11歳、男性 行方不明
長女 9歳、女性 重傷:入院中

- 世帯主 57歳、男性 死亡
妻 60歳、女性 行方不明
孫 11歳、男性 裂創、精神性ショック
入院中

- 世帯主 33歳、男性 行方不明
妻 36歳、女性 死亡
長男 4歳、男性 行方不明
長女 1歳、女性 行方不明

2 人的被害の状況(その4)

3 長殿

・土砂の崩落によりせき止められてできた湖の上流部で家屋が押し流された。(2世帯 3人)



- 世帯主 82歳、男性 死亡
- 妻 79歳、女性 死亡

- 世帯主 90歳、女性 死亡



3 建物被害の状況

長殿発電所：河川の増水
により全壊

長殿発電所

○建物被害の状況

全壊 15棟

半壊 3棟

床上浸水 14棟

床下浸水 11棟

※11月4日現在



4 道路等の被害状況

- 村内いたるところで路肩崩壊、洗い出し等で通行止め

(主な被害)

折立橋が河川の氾濫により落橋 →

※国の直轄事業で、9月16日工事着手
10月30日仮橋供用開始



← 大規模な土砂崩れで
家屋5軒を押し流す(長殿)

5 ライフライン関係(その1)

水道施設の被害

一平谷地区簡易水道(464人)

水源地が土砂に押し流され、

取水機能が停止

→ 仮設のポンプで浄水場へ
汲み上げ(応急対応)

一小原地区簡易水道(530人)

濁水によりろ過機能が低下、

送水管が一部破損

→ 仮復旧済み

一折立地区簡易水道(443人)

送水管の一部が土砂崩れで破損

→ 仮復旧済み



※その他、共同飲料水や個人の谷水を引いている設備でも被害多数。

自衛隊や県内の自治体の協力により、給水車による給水支援を実施。

累計約200

文字54

約4,050人

5 ライフライン関係(その2)

- 停電、電話不通の状況

- 村内いたるところで停電、電話が不通、テレビがみえない

- 現在は一部の地域を除いて、ほぼ復旧済み



- 電話が通じないので、安否情報を伝えられない

- また、役場に要請ができない

- テレビが見れず、今の状況が分からない

6 河道閉塞(土砂ダム)の状況

「深層崩壊」と考えられる大規模な土砂崩壊が発生し、土砂ダムが出現した。

警戒監視中の土砂ダム

○赤谷(五條市大塔町)

避難指示対象地域

長殿、宇宮原、上野地

○長殿(十津川村長殿)

避難指示対象地域

長殿

○栗平(十津川村内原)

※大畑瀨(十津川村永井)

明治22年の大水害の際に出来た土砂ダム。大雨が降れば、氾濫する恐れがある。



7 山腹崩壊の状況

土砂ダムの発生以外にも、
総面積約270ヘクタールに
も及ぶ山腹崩壊が、村内
各地で発生。



地滑りが発生している場所(今西・小井それ以外にも...)
河川の堆積土砂(4~5m上昇)の影響

※11月 4日現在確認分

8 避難状況

(11月 4日現在)

- 警戒区域 ※土砂ダム(赤谷)によるもの
2地域 7世帯 14名
- 避難指示 ※山腹崩壊によるもの
2地域 8世帯 12名
- 自主避難
9地域 23世帯 52名

※ 仮設 30戸。
2年以内か提供出来る。
12月中に復興計画策定へ移行。